

タイトル	「ニート村」とはいかなる空間か？ 共生舎の事例より		
所属	中京大学現代社会学部 岡部ゼミ	氏名	秋山 啓真

**調査のキーワード** 共生舎、生き方、コミュニティ、共同生活、ニート

**調査設定**

生きる為には資本、収入が必要 → 労働に従事して賃金を獲得する → しかし... 過労死、解雇、社会的排除、病気、家庭崩壊etc...  
 そもそもは現代社会の働き方に対する疑問だった...

多くの疑問を可決する為 自ら現地調査へ！

和歌山県の限界集落でニートたちが共同生活をしているという情報！

調査コミュニティ: NPO法人 共生舎  
 所在地: 和歌山県 田辺市 五味村  
 調査期間: 2019年9月13日～同年9月16日  
 調査方法: フィールドワーク、インタビュー + 文献講読

2020年11月14日読売新聞の記事より

**調査概要** 研究全体での大きな問... 共生舎とはどのような空間なのだろうか？

① 住人は本当にニートなの？  
 彼らの多くはアルバイトで生計を立てているニートの時とニートでない時がある

② 以前は何をしていたの？  
 多種多様

③ 共生舎での普段の過ごし方  
 時間がたっぷりあるのでのんびり趣味などを楽しむ

④ 共同生活をする上でルールや役割はあるの？  
 住民に迷惑をかけないことが唯一のルールらしい？

⑤ 同じ住人は彼らにとってどういう存在なのか  
 麻雀大好き、タコ焼き名人Yさんへのインタビュー

共生舎は住民の出入が激しい流動的なコミュニティ！！

広いキッチンとリビング

**考察と今後の課題**

● 共同生活をする場所だからと言って、共通のルールがあるわけではなかった

● 家族ではないなら、お互いはどのような存在？

● 多くの若者とは異なる生き方

我々の今後の人生の生き方に取り入れられる？

● 踏み込んだ内容をインタビューできなかった → 彼らの価値観やライフストーリーを探りたい！

● 自然豊かな場所で、自然のものを利用する場面があった → 自然とのかかわり？

● 地域住民とのかかわりはあるのかな？

● 共通の価値観はあるのか？

**もっと彼らの生き方に迫りたい！！**

庭の自作BBQコンロ